令和４年５月１３日

関東学生テニス連盟

幹事長　牛窪　悠貴　様

早稲田大学庭球部

監督　石井弥起

主務　池田文隆

大会における緊急搬送事態顛末

５／１０に行われた２０２２年度関東学生テニストーナメント大会（春関）において、出場した当部男子部員が緊急搬送されコロナと判明、以降の大会運営に支障をきたすこととなりました。本事態が生じましたこと遺憾に思います。

平素から健康管理に関しては重要事項と認識して部員指導に当たって参りましたが、結果としてコロナ感染者を出す事態となり、今まで以上に健康管理対策面に留意した指導を徹底していく所存です。

５／１２当該部員へヒアリングを行い、前日の体調状況について自己判断をしていたことが以下の通り判明しました。

１．試合前日 21 時 30 分・37 度 3 分の熱と咳が出る体調変化が生じていた。

２．当日の朝 5 時 30 分・36 度 8 分、8 時 30 分・36 度 4 分、熱は下がっていたので試合出場問題なしと自己判断した。

自己判断の原因は、本年 2 月にコロナに罹患した際には高熱であったこと、今回は 37 度 3 分であり、翌朝は熱が下がったため報告する必要はないと考えたためです。

上記の経緯から関東学生テニス連盟に当日提出した健康管理フォームに当人の体調変化は記載できておりません。また 5 月 10 日学連ホームページに掲載されました処分ですが、庭球部として虚偽の報告をしたという事実はございません。この点についての反響があまりにも大きい状況にあり、大学本部に報告し対応いたしております。

なお今後の健康管理フォーム記載に関しては、よりきめ細かい状況を部員から聴取し、記載報告するよう心掛けて参ります。

今回安心・安全な大会運営に支障をきたす状況となりました事、遺憾に思います。

以上ご報告申し上げます。

以上